



- 服部学区避難場所一覧**
- 本郷会館
 - 本永谷集会所
 - 峠クラブ
 - 服部永谷老人集会所
 - 平林公会堂
 - 元駅家服部コミュニティ館
 - 琴森集会所
 - 駅家ふれあいプラザ
 - 服部小学校
 - 野呂集会所
 - 新造友和館
 - AED設置場所

服部ふるさと
古代より栄えた歴史と美しい四季の里

ガイドマップ



服部本郷・神子原エリア

- 神子神社** (みこ) 神子原という地名の起りで、息長帯姫命(神功皇后)が祀られる。
- 熊野神社** (通称:さるや権現) 和歌山県の熊野権現を幣分してある。あらゆる願いが叶うというお守り「おさるぼうぼう」がある。国道182号の百谷から車で進入可能。(P有り)
- 栗屋平兵衛の墓** 是休居士と妙智信女夫妻の墓で、享保16(1731)年死去。服部川両岸(服部小学校～服部大池口付近)の干間堤を築く。
- 六地藏** 八丈岩1枚に六体の地藏菩薩が刻まれている。
- 宝泉寺** (浄土真宗) 福泉坊 (浄土真宗) 圓福寺 (浄土真宗) 上記の3寺では、いつも本堂を開けてあります。どうぞお参り下さい。(トイレ有り)

服部永谷エリア

- 泉龍寺** (浄土真宗) 天文13(1544)年に西高山に創建。享保6(1721)年に現在地に移る。
- 良山栄昌寺** (高野山真言宗) 十一面観世菩薩を本尊。弘法大師(空海)を詠進し、地域では寺と神社を守り、道中手形の発行を行った。現在でも「虫送り神事」などと神社の結びつきがある。
- 阿弥陀堂** 平安中期(1017年頃)、人皇第68代(後一條天皇)の寛仁年中の彫刻にかかる木造阿弥陀如来像で、高さ約91cm幅約75cmが安置。
- コレラ地蔵** 明治12年、日本全国でコレラが大発生し、死者が多数出て火葬した跡地へ地蔵様を祀った。

雨水エリア

- 岩畳神社** (いわたたみ・じんでんさん) 岩が畳状で、昔の古墳ではないかとされる。北側に1620年頃、福山城主の水野勝成公により築造の憩亭(休み堂・阿弥陀・地藏堂)がある。
- 原城跡** (標高420m) 蛇園山の北東の山頂にあり、1185年に源頼朝が梶原平三景時と土肥次郎実平に建立。礎石や井戸が残り、守護神は八幡神社(八幡ヶ岳)。1533年頃、現在の永谷へ移し、現在は中電の鉄塔が立っている。
- 月耀山正覚寺** (浄土真宗) 総持の連へ建立された天台宗。永和中(1375年)に現地へ移り、浄土真宗に改める。
- 長信大明神社**

新山・助元エリア

- 仁王門と大坊** 正式には福盛寺と言い、刈山に大同元(806)年に創立。後に現地に移され仁王門と12坊を建立しましたが、大坊だけ寺として残る。近年復活した400年前からの行事「鬼追い」は珍しい。本尊は千手観音で、瀬戸内観音の霊所。
- 泉正寺** (浄土真宗) 昭和57(1982)年に新市の跡尾から移築。室町時代に創建され、天台宗から浄土真宗に転宗する。
- 天王社** 広島県に八幡神社に次いで多く祀られている神社で、助元の氏神として祀られている。
- 信光寺** (曹洞宗) 400年前に雨木泉山城主が元信光の菩提をとむらうために創建したお寺です。この寺は助元・雨木・本郷の総公寺となっています。

服部エリア

- 服部大池** 当時の福山城藩主の水野勝成により着工。2年後の1645年に完成。灌漑用のため池では日本で十指に入る。
- お糸の像** (お糸大明神) 服部大池の大規模工事に伴い、永久に壊れないとの伝承により、強制的に選ばれた人柱の「お糸」の像をお祀りする。悲恋物語の伝説碑文とシンボル像がある。
- 月大師** (おつきさん) 冬至の日に早朝5時頃から多数の人が参り、カボチャ汁の接待を受け、正午頃まで賑わっています。

